

第1回 隅田小学校学校再編準備委員会 議事録

日時 令和8年5月15日 18:30～20:30

場所 隅田地区公民館

出席委員：乾委員長、森下副委員長、西山委員、中委員、田中（文）委員、堂浦委員、水林委員、船津委員、田中（康）委員、東浦委員、石井委員、中岡（耕）委員、中岡（大）委員、奈良委員、門多委員、森脇委員、西委員、入江委員、小野委員

欠席委員：中村委員

教育委員会：今田教育長、田中教育委員、中下教育委員、岡教育部長、阪口参事、南出隅田地区公民館長、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導主事、今山学校再編推進室主任、東学校再編推進室主任

委員紹介、正副委員長の選出後、委員長により進行。

4. 隅田小学校・恋野小学校の再編統合の確認について

事務局より説明（資料 2P）

「新しい学校の開校に向けた具体的な協議に入ること」について了承される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	令和7年4月から10月の間で、隅田地区区長会長との協議、恋野地区は区長会との懇談になっているのですか。
事務局	隅田地区区長会につきましては、令和6年度の説明会での意見を踏まえて、区長会長に再編統合の確認をしました。恋野地区は区長会から嘆願書をいただいていたので、区長会と懇談を重ね、再編統合の確認をしました。

5. 委員会の進め方について

事務局より説明（資料 3P）

委員からの質問等は特になし

6. 議事

1 教育課程について（報告 資料 4P）

委員からの質問等は特になし

2 児童ケアについて（審議 資料 4～14P）

児童、保護者、教職員に対するアンケートについては、恋野小学校再編準備委員会での審議も踏

まえた上で、提案どおり進めることで了承される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	ほかの中学校校区の再編統合でも同じような内容でアンケート調査をするのか。
事務局	今回の学校再編計画では、隅田小学校と恋野小学校が最初の再編統合でのアンケートになりますが、このあとの再編統合においても、同じような形で進めさせていただく形になります。
委員	1・2、3・4年生は具体的で分かりやすいと思うんですが、5・6年生はすごくおおざっぱすぎてどういう答えを欲しがってのアンケートとしているのか。、アンケートを受けてどういうことに活かしていこうと思っているのか。
事務局	再編統合による対象となる児童は、今の1年生から4年生になるということで、1年生から4年生のみなさんに、どういう思いということ聞かせていただくということで、教育委員会と学校の協議をスタートさせたんですが、やはり今の5年生6年生の児童の皆さんもそれぞれの学校に対する愛着というのがすごくあり、その思いも大事にしながら、この再編統合を進めていくべきではないかということになりましたので、5、6年生の児童の皆さんにも、その思いを聞かしていただくということで、こういう内容になりました。具体的に心配なことという聞き方ではなしに、自由に答えていただけたらということで、自由記載の形になっています。
委員	この文章に加えて小学校5、6年生のアンケートには、これまで登校してきて統合になったときに、そのなくなってしまうのは少し悪いイメージもあるかもしれないんですけども、それぞれの小学校のいいところはこういうところがいいところだったんで、統合しても残してもらいたいというような思いをアンケートに書いてもらえるような、引き出しやすいような、問いにした方がもっといいのかなと思います。この2行ではちょっと伝わりにくいのかな。もう少し何か思ってることが児童に伝わるような書き方が良いのかなと思います。
事務局	今日お示しさせていただいた案をベースにして、今のご意見も踏まえた形での問いかけにできたらと思います。
委員	全体的に資料を確認してからの話になるんですけども、資料4-6-1に新しい学校の校名についてという部分があります。このアンケートには校名は変更しますよという部分が載っていない。校名が変わってもいいですかという内容もなしに、アンケートをとるのはどうかなと思います。最後まで話を聞いて、アンケートの部分に戻って、この部分は記載して欲しいというのがあればいいんですけど、この場はアンケートの部分だけ進んでしまうのはどうかなと思いますが、その点事務局どう考えておられるのか。
事務局	このアンケートの内容を協議する中で、いただいたご意見もどうなのかという協議もしました。資料6ページになるんですけども、真ん中より上ぐらいですね、一番上の四角の左にマルを書いているんですけども、丸の3つ目に新しい学校名のことについてはこれから話し合いをしていきますと書いています。5月末からアンケ

	ートの予定ですが、まず4月に子供たちにも知ってもらった上で、アンケートの項目に直接的なそういうものはないんですけども、一緒になっていくということになりますと、子供たちにも知ってもらった上で進めるべきじゃないかということで、この大切なお知らせを配らしていただき、進めています。
委員	そしたら統合に関する部分はアンケートをとりますけども、学校名が変わりますよというようなアンケートは再度とるといような考えがあるんですか。
事務局	今日の議事の6番目に校名校歌という議題があります。今ご協議いただいてるところについては児童のメンタル的なケアところでのご提案をさせていただいてるんですけども、こちらの校名校歌の方でもですね、今日はそこまでの議論になるかというのもあるんですけども、後程ご説明もさせていただきます。

3 学校施設について（報告 資料 15P）

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	改修の報告をいただいたんですけど、体育館の長寿命化の部分だけで、体育館以外のところの改修は、現在のところないということによろしいのでしょうか。
事務局	隅田小学校の校舎につきましては、平成24年から26年度にかけて大規模改修が一旦完了していますので、現在のところ、再編に伴う他の改修というのは検討していません。
委員	恋野小学校から隅田小学校へ来られる児童がどれぐらいいるのかわかりませんが、全体的には隅田小学校の校舎、教室で十分いけるということで準備されてるのでしょうか。
事務局	令和10年度に統合した際には、現在の隅田小学校の教室数で足りると推計をしていますので、増築等は必要ないと考えています。
委員	体育館の長寿命化とあるんですけど、確かプールも同時期に完成されてると思うんですけど、プールのほうの改修等は検討はされてないんですか。 あと、プールの時計も動いていなかったんじゃないかということもあり、そこら辺聞かせてもらえたらと思います。
事務局	プールにつきましては、今のところ改修は考えていません。 それはプール授業の方法をいろんな形で違った方法で考えていく考えもありまして、施設そのものをさわる予定はありません。指摘のあったことにつきましては、確認させてください。

4 通学安全対策（1）スクールバスの運行ルート（恋野ルート）について（審議 資料 16、18～21P）

議題「恋野スクールバスのルート・停留所・便数」について、恋野小学校再編準備委員会で審議いただくことで了承される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	通学安全対策のことでお聞きします。恋野小学校の方はバスに乗ってくるんで、事故等は少ないというふうに解釈するんですけども、隅田中学校から 24 号線までは道路が狭い。そこに大型バスが走行するんですね。だから雨天時に、中学生と保護者の送迎が集中する時間帯に、芋生の方などが恋野山内線を徒歩で小学校に行かれるんです。その安全対策はどのように考えておられるおられるか。大型バスと、中学校に送る保護者の車、歩く小学生・中学生が入り乱れてくる。登校中の小学生の安全対策というのは、バスの時間帯によってはかなり危険かなと思っているんですけども、その点の安全対策とか何かお考えがあるんですか。
事務局	恋野ルートで使うバスにつきましては、人数の加減で中型バスと考えています。恋野橋の北側のところは広がっているんですけども、そこから少し北に行ったところから国道までのところにつきましては、今回のスクールバスが通る計画もありますので、以前から道路の幅員が狭いんじゃないかというようなお話もいただいているところです。現在、和歌山県が今年度に道路拡幅に向けての現地調査に入られるとお聞きしています。整備の時期とスクールバスの走るタイミングの加減もあるんですが、長年の懸念事項でもあった、その拡幅に向けて動き始めたところもありますので、そういったところは県とも調整を図りながら、確認をとっていきたいと考えています。
委員	ちょっと状況は把握はしてないんですけども、あの時間帯は大型ダンプとか通られへんようになってるのかな。そうやっていいんですけど、中型バスと言ってもダンプよりちょっと小さいぐらいかな。それで安全対策できるんやったらいいんですけども、道の拡幅の話は聞いてますけども、まだまだ先の話かなというふうに思ってるんで、そのときの安全対策は、きちっとやっていただきたいということを要望いたします。

4 通学安全対策（２）スクールバス乗降場の安全対策について（審議 資料 16P、22P）

議題「スクールバス乗降場所の安全対策」については、提案通り進めることについて了承される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	恋野小学校からのスクールバスだけということで理解したらいいますか。隅田の子は今まで通り、バス停ということになるんですか。
事務局	現在の運行している隅田小学校のスクールバスは、隅田小学校の正門前に止まって、そこで乗り降りをされてます。これについても児童の安全性から改善が必要ではないかというのは、以前から課題としていました。そんなところに恋野ルートが追加になってくることになりますので、現在の隅田小学校のスクールバス、それから新たな恋野ルートのすべてがこの停留所で運用させていただくというような考えです。
委員	現在の隅田小学校のスクールバスで使っている車両を、もう少しコンパクトにして

	グラウンドに入るといことでしょうか。
事務局	隅田小学校のスクールバスのサイズ変更は現在のところ予定をしていません。お示しさせていただいてるこの駐車場のサイズは、現在の隅田小学校のスクールバスを受諾している南海りんかんバスと協議をして、どの程度のスペースが要ってくるのか、回転幅がいくってくるのかというようなところは、現地も確認もいただいた中でこういうような図にさせていただいているところです。
委員	児童の待合場所は屋根とかは考えてはないんですか。
事務局	現状では屋根は難しいと思っています。

4 通学安全対策（３）スクールバス乗降システムの導入について（審議 資料 16P、23～24P）

議題「スクールバス乗降システムの導入」については、提案通り進めることについて了承される。

	議 事
委員	これは恋野地区のバスだけですか。今走ってるバスにはこういうのが導入されてないんですか。
事務局	こちらのシステムは、現行のバスには導入できていないんですけども、まず、現在走っている隅田小のスクールバスから導入を考えています。令和９年度に向けて考えていまして、そのあと恋野小学校のスクールバスの運行にも合わせて導入するという形の流れを考えています。
委員	このアプリに関しては日本語対応ですね。外国人の方は乗られないんですか。それも考えていらっしゃるのかな。
事務局	外国語の対応につきましては、現在のところはシステムとしての対応は考えていないんですけども、今後、そういった形で日本語だと表記が難しいようなことがありましたら、業者と協議を進めたいと考えています。

4 通学安全対策（４）通学路の安全対策について（報告 資料 17P、25P）

委員からの質問等は特になし

4 通学安全対策（５）小学校の防犯対策について（報告 資料 17P、26～27P）

委員からの質問等は特になし

5 地域連携について（報告 資料 28～29P）

委員からの質問等は特になし

6 校名校歌（１）学校名・校歌・校章について（審議 資料 30P、32～33P）

議題「新しい校名とすること」については継続審議となる。

議題「合同会議の委員選定」については、恋野小学校再編準備委員会での審議も踏まえた上で開催することとし、委員の選任については、正副委員長及び事務局に一任いただくことで承認される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	校名を変更するということからスタートしているんですね。今日は娘にも聞いてきたけども、それは変わるということを知っているというようなことでしたけども、地域住民と話してもその点が浸透されてない。変わる責任はこのメンバーである程度責任持ってというような説明だったと思うんですけども。なぜ隅田という名称ではいけないのかというようなことの説明が、統合するから変わるというような説明なんですけども、責任をもって変更 OK ですよというのは言いにくいというのはあるんです。その点の説明をお願いします。
事務局	今回の再編統合が吸収合併ではないところになります。新しい学校の歴史が始まるというところが、なかなか伝わっていないかと思うんですけども、今回の再編統合によりまして、学校の歴史なども一旦リセットされ、新しい学校という形の取り扱いになります。そういったことから、新しい学校名にしてはということになります。
委員	校名変更をするよというようなお話しなんですけども、ちょっと資料 15 ページの中に、取り組み内容としては、校章校名が刺繍されている体育館の舞台幕は校章校名が変更となった場合は新設になりますと。ここには校章は変わらなくてもいいかもわかりませんというような表現になっているんですけども、その点はどういうふうに理解したらいいですか。今の説明では、隅田小学校という名称は使えませんというお話だと思うんですけど、こっちの方見たら、変わった場合は体育館の幕とかこう変えますよというような、変わった場合は変えます。表現としては変わらない場合もありますよというような表現になってるんですけど。それはそういう理解でよろしいのでしょうか。変わらない部分もありますよという形でいいんですか。
事務局	この学校名のところにつきましては、校歌校章は、この学校名の議論が進む中で、次の段階で議論をスタートさせていただきたいと思っているんですけども、この新しい学校名の議論からスタートしたいというところは先ほどから申し上げてるような理由のところになります。 ここについては本当にいろんな角度からたくさんのご意見がいただけるものと考えていますので、我々の議論のスタートとしましては、先ほどから申しましたように、新しい学校をスタートしていくんだっていう視点から新しい学校名を選ぶというところの議論からスタートし、それを踏まえて意見交換というか議論から入っていきたいと考えています。
委員	要はここで提案された内容でいきますよということで承認しますとなれば、この流れでいくことになりますね。私としてはもっと議論をする必要あるのかなというふうに思うんですけど、一時間半のほどの間にすべて結論を出して、新しい学校の校名について結論出ましたというような形で終わってもらいたくはないと思ってんです。それは皆さんどう考えているのかわからないんですけども、私としては、一時間の間に校名は変更しますという結論になりました。というような進め方はして欲しくないという意見です。

委員長	1 点だけお話しさせていただきます。今、言われてるように、現在の学生含む若い人たちから見れば、その方向もあり得ると思うんです。しかし、高齢者にとっては、やはりこの隅田という名前が省けるとなったら、ちょっと懸念する点が出てくるんです。 この委員会 20 名いるんですけど、この中で決定したと言う、我々の責任ということはないんだけど、何かちょっと重たいように思うんです。それは最終的には多数決で決めたというそれまでかも知れませんが、これ長年続いた隅田小学校、恋野小学校等々を考えた場合、新しい名前がいいのかと。これは皆さん今日は若い人もいので、皆さんのご意見を言ってください。
委員	昔、隅田小学校ができたときは下兵庫、山内にあったところと違う学校建てて、それで 1 つにして、新しく建った学校やから新しい学校。 ここで新たに校名を変えると、今の少子化の流れでいったら、あやの台も何年後には子供が少なくなってくると、ここに行きます。そしたら今度また名前変える。例えば今回のときは、隅田小学校にしたとしましょう。でもそれがまた子供減ったら隅田中学校という土台に全部集めて体育館 1 つという形になったときに、隅田中学校というのがあったときに、将来見据えていったら、今ここで校名を変えるのが本当に正しいのか。隅田中学校という基盤があるところに全部まとめてこななければならない。 今後、少子化が起こってきたときに、そのたびに変えていったら、隅田中学校がそれも名前変えることになったときに、果たしてそれがいいのか。校名変えたら、地域の協力する人は減ります。校名はそれぐらい大事なんで、そこも踏まえてしないと、地域から協力できない学校になられたら困ります。
事務局	まず今日は議論のスタートということで、提案をしているんですけども、この 1 回目の会議の議論でその進め方を決着といいますか、できるものとは事務局としても考えていません。 入口としてはこういう提案をさせていただいてるんですけども、先ほどちょっと合同会議のメンバーのお願いもさせていただいたところなんですけども、当然この全体の中でご議論いただくということも当然大事なことでありますし、この全体の会議に行く前に、5 人程度出していただいた委員さんの中でも、意見交換もしていただくことも必要なんじゃないかっていうことで、合同会議で両校のメンバーさんで、両校の思いも意見交換もさせていただき、またこの準備委員会の方でもご議論いただく形で、最終的な進め方をやっぱり見いだしていかないといけないと考えています。 先ほどこの準備委員会だけで決めるのかと、それは新しい学校名の選ぶ方法の 1 つとしても、先ほど資料 33 ページでも少し触れさせていただいたんですけども、そういった校名を、募集していくことになったとしても、その募集方法はその児童なのか保護者なのか、地域の皆さんまで対象に入れていくのか、そういったところも意見交換していただきながら決めていきたい、答えを見いだしていきたいと思って

	います。やっぱり何度か意見交換していただく中で、答えを出していきたいと考えています。
委員長	今日は委員 20 名おるけど、20 名で議論をせめてもうちょっとした中で、人数的にも考えてもらって、最終的には 5 人ぐらいがいい。最初から 5 人になると、出る委員も責任あるんよ。事務局はどう考えているかわからないが、これは大きな問題なんで、簡単にされたら困る。やっぱりもうちょっと議論しないことには。 今日の話の中で承認得たら、この方向でいきますという格好になっているが、その立場の人間としては大変だと思う。帰ったら、各地区でいろいろこの問題は出てきます。 これが出ると、各地区は沸く。恋野さんは、恋野さんで考えた方がいいが、隅田は小学校の名前を変えるということになってきたら、ちょっと違う。 その辺で委員さんにも考えてもらって、納得した上でこれやるのならいいけど、みんな納得してないと思う。 やっぱり議論する限りで納得をした上で、進めていくというのが本来だと私は思う。多数決の時代でも、多数決とったら終わりになりますけど、これはそうはいかないと思うので。もうちょっと時間をかけて、この件についてはやって欲しいと私は思います。皆さんの意見聞かせてください。
委員	審議事項のところに、この新しい校名とすることについて、現在 2 校の校名は新しい学校の校名候補に含めない。これを消していただけたらと思います。この先でどういう議論になるかというのを、皆さんの意見も聞いてからになるんでしょうけれども、最初からもう隅田なしでスタートされるのは困るなと思います。やっぱり学校名変えて欲しくないというのが個人的にすごく思っています。 これからこの橋本市内の小学校が合併して行って、いろんなところが一体どんな名前になったら、その新しい学校の名前がいいのかどうかかわからないけど、そんな学校がいっぱい増えてきたら、どこの学校がどこにあるんかわかんようになってしまおうと思って、先ほどの意見と似たような感じになるんですけども、それぞれの中学校区に小学校が 1 つになっていくんだったら、その中学校に名前合わせていくのもいいのかな。そうなったら隅田はもう隅田小学校のままでいくのがいいんじゃないんかと私は個人的に思います。ちょっと最初から無しで進むのは、ちょっと嫌だなと思います。だから、この新しい学校の校名に候補を含めないというのを消していただいて、審議した上で決定するとしていただけたらと思います。
事務局	この場ですぐさま消すというようなお答えはできないんですけども、先ほど委員長言われたみたいに、この問題については、やっぱり時間をかけて議論、意見交換をしていただく必要があると考えてます。 今、新しい学校名としたとしても、今の学校名を含めて欲しいというご意見もすごく貴重なご意見だと思います。委員皆様からもう本当にいろんな視点からたくさんのご意見をいただく中で、時間をかけて議論をして行って、どういう形にしていく

	のかというのを考えていきたいというふうに思っておりますので、今日はもう本当に今までのこういう議論なかったのかってお話もあったんですけども、今日から議論を開始させていただいて、この準備委員会本体もそうですし、合同会議での議論など、いろんな形で慎重に議論を重ねさせてもらえたらと考えています。
委員	ちょっと年寄りばかり言ってるので、ちょっと PTA の方の意見聞きたいんです。今の校名のことに関してお願いできますか。
副委員長	先ほどからお話聞かせていただいて、私も手あげたかったんですけど、いつあげようかなというところやったんで、私の個人的な意見になりますが、校名に関しては本当に重い問題やと思います。 その中で、恋野小学校さんのこととかも考えたり、あと地域の方々の協力とかも減りますよってという意見も出てるんですけど、その保護者の意見として言わせてもらいます。通うのは子供です。だから、子供のことを考えてどうするかというのを前向きに進めていただきたい。 もちろん地域の方も大切だと思うんですけど、やっぱり隅田小学校通ってる子供がどう思ってるかっていうところ辺もありますし、恋野小学校に現在通われてる子供さんというのはもちろん、今の流れで言うと恋野小学校という名前はもうおそらく消えていくんやろなあっていう印象を受けました。そうなってくると、人数は少ないんですけど、やっぱり恋野小学校通われてたお子さんにとっては寂しい気持ちしか残らない。ですが隅田小学校に通ってる子供さんは、現状維持なんで何も変わらないというか、隅田小学校が有利とかそんなんじゃないですけど、恋野小学校だけが損をするんじゃないですけど、寂しい思いをさせてしまうのかなというところが私の思うところです。そういった視点で見てもらえたらなと思います。 そういったところで見たときに、やっぱり隅田小学校じゃなくなったら隅田小学校通ってる子も寂しい思いするかもしれないんですけど、新しい名前でも新たにスタートするんだという気持ちを持っていただけるかもしれませんし、恋野小学校の子はもちろんね。移動してくるんですけど、その中でまた新しい気持ちでという形、前向きな方向にいくと思っています。 予算の兼ね合いとか、どういう状況でこうなったのかわかりませんが、新しい学校校舎等は建てずに、現在の隅田小学校で再編統合、新しい学校を作っていきたいという話になっているところがちょっとネックなのかなと。そこでこじれてるのかなというのはあるんですけど、隅田小学校に恋野小学校の子が来るという認識は、僕個人の意見としては捨てていただきたい。新しい学校になるという認識で皆さん議論を進めていただきたい。 あと、子供さんのことを一番に考えて、この場でお話進めていただけたらなと思っていて、先ほど隅田中学校の話も出てましたけど、校名、隅田小学校から隅田中学校という形で、同じ名前残しといた方がいいというような意見もあるんですけど、周り見たら、紀見北中学校であったり紀見東中学校というところは小学校名と中学校名の繋がりは全くありません。その辺りの歴史とかも知らないんで、全くないと

	言ったらちょっと語弊あるかもしれないんですけど、私の認識としては、そこは全く関係ないというか、隅田中学校に対して隅田小学校やっていう繋がりを持たなくてもいいのかなと思っています。 もちろんころころ校名変えたら、そのためにいろんな対応していかなあかん、お金もかかるというところもあって、そこら辺もやっぱりちゃんと議論していかなあかんというところはあると思います。 簡単に決めれるようなことじゃないと思うんで、人数は少ないかもしれないんですけど、皆さん代表でこうやって集まってる中で責任とかもあると思います。隅田地区全体が同じ方向を向くのはなかなか難しいと思います。反対のままだ人はもちろんいると思うんですけど、このメンバーでしっかり決めていけたら私は思っています。 あまりまとまらない話になったかもしれないですけど、私の意見とさせていただきます。
事務局	保護者さんの視点、それから地域の住民さんの視点ということで本当にいろんなご意見をいただいてると思います。 我々今日は本当に直接、初めて生の声をお聞きさしてもらってるんですけども、やっぱり自分らがこの場に立つ前の段階でも、やっぱり本当に地域の方と保護者の方、今まで携わっていただいてたいろんな地域とか、学校に関わっていただいている取組の中でも、いろんなお考えも当然あると思います。いろんな角度から意見をいただいたと思いますので、ここは本当にこの1回の今日で決めていくもんじゃないですし、やっぱり議論を交わして深めていただく中で、確かにこの100%一致っていうのはどこまでというのはありますけれども、意見交換していく中で何とか答えといいますか、こういう形でいいんじゃないかというところを、総意として見いだしていけるように今後も準備委員会と合同会議等で進めていきたいと考えています。慎重に丁寧に、議論を進めさせてもらえたらと考えています。
委員長	そしたら、この件につきましては継続審議ということでご了解いただきたいんです。今日はこれで決まるというのではなく、事務局も言ってますけども、できるだけこのメンバーで1回2回は審議をして方向を決めていくと。皆さんどうですか。そうじゃないと、いつか結論出していかなければならないので。もう少し時間をいただいて継続審議という形の中でこの件については、進めていくということでもよろしいですか。はい、それではこの件については継続審議ということでお願いします。 次に合同会議の委員の選定についてですけども、5月19日の恋野小学校の再編準備委員会での、審議の踏まえた上で開催することとするということで委員の選任については、人数は事務局より提案のあった5名ぐらいで選出、正副委員長の及び事務局に一任をしていただいてよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。 本件については、委員会においては承認されました。

委員からの質問等は特になし